

平成27年度 妙高市音楽部 活動報告

部長 相浦 美子

1 研究主題

「味わおう 音楽を 伝え合おう思いを」

※平成27年度 上越音楽教育研究会のテーマを受けて設定

2 研究の概要

- (1) 春の研修……年間活動計画の立案
- (2) 夏の研修……妙高市音楽発表会の実施計画立(案)の検討、リコーダー練習会
- (3) 秋の研修……第57回関東音楽教育研究会新潟大会への参加
- (4) 妙高市音楽発表会……市内小・中学校、特別支援学校の計12校が一堂に会し、音楽を通じて交流を行う。音楽部会が企画運営に当たる。

3 研究の実際

(1) 春の研修会 (平成27年4月22日)

10月に開催する第57回関東音楽教育研究会新潟大会への全面的な協力体制を確立するため、当部会のテーマを新潟大会のテーマと同様に設定し、全部員が今年度の本大会に参加することを確認した。

(2) 夏の研修会 (平成27年8月20日)

妙高市音楽発表会の実施内容について検討した。共用楽器の精選とステージ配置図の詳細について確実な共通理解を図った。音楽発表会に職員演奏を加えることとし、リコーダーアンサンブルの練習を行う。11月6日に第2回目の練習を行った。

(3) 秋の研修会 (平成27年10月16日)

上越市で開催された第57回関東音楽教育研究会新潟大会の8公開授業に分散して参加した。事前に提示された研究の視点を基に、児童生徒が主体的・協働的に音楽活動に取り組む音楽授業のあり方について協議を深めた。

教科調査官からは、学習の質がより高まるように、今後さらにアクティブ・ラーニングを取り入れた学習過程を工夫・吟味すること、総合芸術を音楽の教材として扱う場合、音楽の授業として扱うことは何なのかを明確にすることなどをご指導いただいた。次期学習指導要領改訂の動きが具体化してきたこの時期に、大切にすべきことは、現行指導要領の学習指導を中心として、成果や課題を多くの教師で共有することであるとのことご指導から、本研究発表会の成果や意味づけが一層明らかにされた。

(4) 妙高市音楽発表会 (平成27年11月13日)

各学校の特色を生かした多彩な音楽活動が披露され、それぞれの発表のよさや美しさを感じ取り、音楽を通じて市内の児童生徒が深い感動を共有できた貴重な場であった。また、今年度は音楽部の教員もリコーダー合奏で発表会に参加し、教員自らも演奏者として楽しむことができた。



4 成果と課題

関東音楽教育研究会新潟大会のプレ大会及び本大会に参加することで、主体的・協働的な学習の手立てについて具体的に学ぶことができた。今後は、何を教えるかという知識の量や質だけでなく、さらにどのように学ぶかという学びのプロセスを大事にした授業づくりに努めていかなければならない。